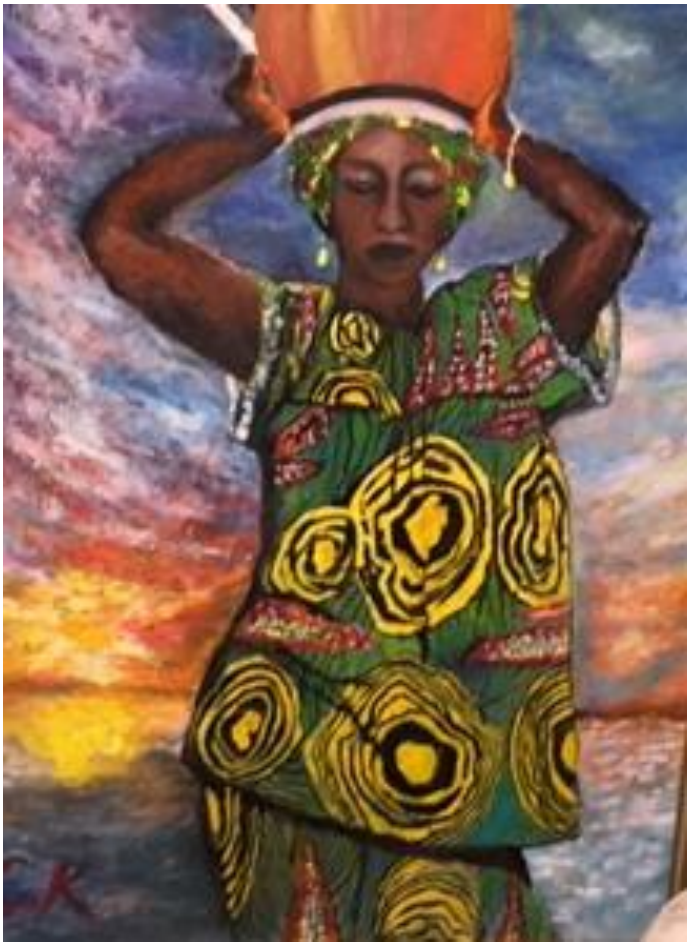
第 41 回　木星会展　（2019 年 10 月 16 日から 21 日）
出展作品についての若干の説明

2019 年 10 月 15 日　　　金谷千慧子

金谷千慧子の出展作品について、ちょっとだけ説明をさせて頂きます。

常日頃、女性が自らの力を存分に発揮して輝いている姿を描きたいと思ってきました。
それがあらゆる国・地域の女性たちへの応援にもなるとも思ってきました。
それには白人女性だけでなくアフリカ系女性たちの登場も必須です。
今は世界の人口は 75 億とか。その半数は女性。そしてこれから増加
を見込まれるのは、アフリカ系だけだとか。
そもそも私たち現在人類（ホモサピエンス）は東アフリカで誕生したとき、
「黒」若しくは「褐色」の肌だったと推定されています。
とつぜん変異で誕生した白い肌があたかも、ずっと上位者であるかのような
差別がまかり通っていますが、決してそうではないと思っています。

1　　夜明け　50 号（F）第 73 回　女流画家協会展入選



アフリカ・マリの女性
アフリカデザインの服装
食器を水辺で洗い、家まで
運んでいる姿

国連の男女格差指数（Gender Gap Index）（2018 年度版）は、経済、教育、健康、政治などの分野における男女格差を数値化したものであるが、マリはアフリカ 52 か国中でも最も低い方で、世界 149 か国中 128 位である。ちなみに日本は 110 位でこれも低い。

2　　コラボレーション　100 号（F）

白い肌の女性と褐色の女性の
コラボレイトを描きたかった

コラボ「力」は
測りきれないほど
大きいはずだ。

3　　立て！　立ち上がれ！！　５０号（F）

どこからか聞こえる「立て！」
「立ち上がれ！」
という励ましの声。
それに呼応しようと顔を上げるが、
立ち上がる筋肉がまるでない。
気力もない。
意欲もない女性の姿。

これもまた現実。
時間だけが過ぎていく・・・・・

4　　あじさいと女性　15 号（F）

３回目の描き直しです。
私はどちらかというと
何度も描き直すタイプです。
今度は女性の周りを紫陽花
で飾りました。

花にうずもれた女性を描く
のが、大好きです。
でも人物は難しい。
しかし、いちばん描きたい
のは元気な女性の姿です。